

2020年度 自動車利用適正化対策の実施結果

① シャトルバスの運行 **【業務委託（斜里バス等）・関係機関】**

- ・コロナ禍による影響により当初予定を変更し、第13回カムイワッカ部会（7月3日開催）の決定を経て以下の2つの方式で実施した。（下表参照）

	6月	7月	8月	9月	10月
	6/1		8/9 ~ 8/15		10/2~10/4 10/30
全体日程		自由利用期間	自由利用期間	自由利用期間	自由利用期間
	6/19		8月のマイカー規制期間 硫黄山道路特例使用	9/27	10月のマイカー規制期間
カムイワッカ地区監視員配置		7/18			10/4
協議会 出役		7/23~7/25		9/19~9/22	
警備誘導員配置（8月） ・自然センター駐車場 ・知床五湖駐車場 ・知床五湖ゲート			8/9 8/15		
警備誘導員配置（10月） ・自然センター駐車場 ・道の駅うとろ・シリエトク ・幌別ゲート					10/2~10/4

- ※1 8月バス運行期間中、自然センターカムイワッカ往復大人 1,300円・子供 650円、ウトロカムイワッカ往復大人 1,980円・子供 980円。10月は無料。
- ※2 通行規制の根拠は道路交通法第4条による公安委員会の交通規制

- 1) 8月9日～8月15日の7日間（規制区間は知床五湖～カムイワッカ）で実施。
 - 実施期間について、近年8月1日から25日までの25日間であったところ、新型コロナウイルス感染拡大の影響による観光需要の低迷が予想され、短縮しての実施とした。
 - 8:30から16:30まで20分間隔でカムイワッカ湯の滝とウトロ温泉バスターミナルまたは知床自然センターを往復する1日25便を運行。
 - 新型コロナウイルス感染症対策として、定員を通常時の58名から約44名に減らして運行とした。乗車実績は総計4,435名であり（前年比38.6%）、前年同期比で比較すると80.5%となった。
- 2) 10月2日～4日の3日間（規制区間は幌別ゲート～カムイワッカ）で実施。
 - ヒグマ等野生動物との軋轢対策を目的に加え、過去初めて幌別ゲートまで規制区間を拡大したマイカー規制を3日間実施した。事業予算は、主に環境省補助金（国立・国定公園の誘客推進事業）を用い、運賃は無料とした。
 - 環境保全と誘客を兼ねた「知床オータムフェス」のイベントの一部として実施し、道の駅・知床自然センターでのイベントや岩尾別孵化場でのツアーな

ど周辺施設との連携を組み合わせた形態とした。

- シャトルバスは、A, B, C, D の 4 系統の路線に分けて運行した。A 系統の自然センター～知床五湖間の一部区間では地元ガイドが同乗し、車内でのネイチャーガイドトークを実施した。岩尾別温泉行き（C 系統）とウトロ地区の主要ホテルの巡回バス（D 系統）の新路線の運行も実施した。乗車実績は、全系統の累計で 3,068 名だった。各路線の乗車実績の内訳は下表参照。

		10月2日	10月3日	10月4日	計	
A	道の駅から	132	309	291	732	34.5%
	道の駅～五湖	358	500	530	1,388	65.5%
	小計	490	809	821	2,120	
B	五湖～カムイワッカ	175	335	327	837	
C	自然センター～岩尾別	33	30	16	79	
D	ウトロ市街地巡回	6	14	12	32	
乗車延べ人数		704	1,188	1,176	3,068	

② マイカー規制・通行許可申請関係（8月・10月共通）

- ・マイカー規制期間における通行許可を希望する関係者の申請書を取りまとめ、斜里警察署に提出するとともに、許可証とあわせて通行許可車両確認書（協議会発行）を各者に送付した。【斜里町】
- ・マイカー規制前日の車両追出しを行った。【環境省・北海道・知床財団・ウトロ駐在所】
- ・追い出し周知チラシを作成・配布・貼り出しを行った。【北海道】

③ 広報活動【環境省・北海道・斜里町・公園財団・知床財団】

- ・本対策の周知を図るため、交通情報センターへ放送の依頼を行った。
- ・8月のマイカー規制においては 40,000 枚を作成し、道内の道の駅、キャンプ場、レンタカー事業者、道内外のカーフェリー事業者等に配布した。
- ・10月には、10,000 枚のリーフレットを作成し、8月マイカー規制同様に多方面へ配布と併せ新聞折り込みや、インターネットを利用した周知活動に努めた。また報道各社へのプレスリリースを実施した。
- ・国道、道道沿いに道路管理者協力のもと、マイカー規制期間中等の告知看板を設置するとともに、電光掲示板（国道 334 号：ウトロ、知布泊、峰浜、豊倉 道道知床公園線：ホロベツ）への規制情報や混雑情報の掲出を依頼した。
- ・8月においては、知床五湖駐車場までの渋滞状況について、情報を把握し、関係者に連絡した。（自然公園財団（知床五湖チケットハウス）→知床財団→観光協会→関係者のルートで共有）

- ④ 現地管理連絡調整等業務（8月・10月共通） **【委託業務（知床財団）】**
- ・本対策を円滑かつ適正に実施するため、現地管理連絡調整業務（無線による定時連絡、渋滞情報等の情報収集業務等）を（公財）知床財団に委託し、カムイワッカ、知床自然センター駐車場及び知床五湖等の現場との連絡、自動車利用適正化対策実施状況の情報収集、トラブル等発生時の連絡調整及び現場への指示、対応、関係機関への連絡等を行った。
- ⑤ ゲート開閉及び車両誘導業務 **【委託業務（自然公園財団、北海道警備）】**
- ・マイカー規制時の各ゲートと乗り換え駐車場にシャトルバスの誘導や駐車案内、ゲート操作等を目的とした警備誘導員を適宜配置した。
 - ・10月の実施時には事務局スタッフが乗車案内、車両誘導を行った。
- ⑥ 監視員の配置（8月・10月共通） **【斜里町・観光協会】**
- ・利用者指導、残留者の発生防止、安全対策等を目的とした監視員（1～2名）を7月18日～10月4日までの79日間カムイワッカ地区に配置した。今年度は、配置期間を知床オータムバスデイズ最終日まで延長した。
- ⑦ 調査・モニタリング
- ・以下の調査、モニタリングを行った。

調査	実施者	実施期間
シャトルバス乗車実績	知床財団（連絡調整業務）	8月、10月
駐車台数調査	自然公園財団、知床財団	8月、10月
駐車時間調査	北海道大学、知床財団	10月
利用者意識調査	北海道大学	8月、9月、10月
湯の滝利用者数	環境省（自動カウンタ） 斜里町（監視員）	開通期間 監視員配置期間
湯の滝混雑状況 滞在時間調査	斜里町（監視員） 北海道大学	監視員配置期間 9月、10月

- ⑧ その他
- ・6月1日から10月31日までの間、カムイワッカ湯の滝前に仮設トイレを3基設置した。 **【斜里町】**
 - ・シャトルバス停留所に案内看板を設置した。 **【建設管理部】**
 - ・マイカー規制実施開始直前最終役割分担等打合せを行った。 **【関係機関】**